

# 透析施設におけるACPチーム活動

～言葉のPieceをつなぎながら～

2025年9月6日

日本ACP研究会 第10回年次大会

西條クリニック鷹番

○平野 典子 下村 汐里

佐野 志津香 西條 公勝

# 日本ACP研究会 第10回年次大会

## COI 開示

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。



# 西條クリニック鷹番

2001年 開業 東京都目黒区  
外来:内科 皮膚科 透析科

- ・血液透析患者総数 78名 平均年齢70.6歳  
(最高年齢:91歳 最低年齢:32歳) 2025年4月現在
- ・透析監視装置 25台
- ・看護師 8名 臨床工学技士 4名
- ・送迎バス運用
- ・月1回 栄養相談
- ・月2回 患者カンファレンス



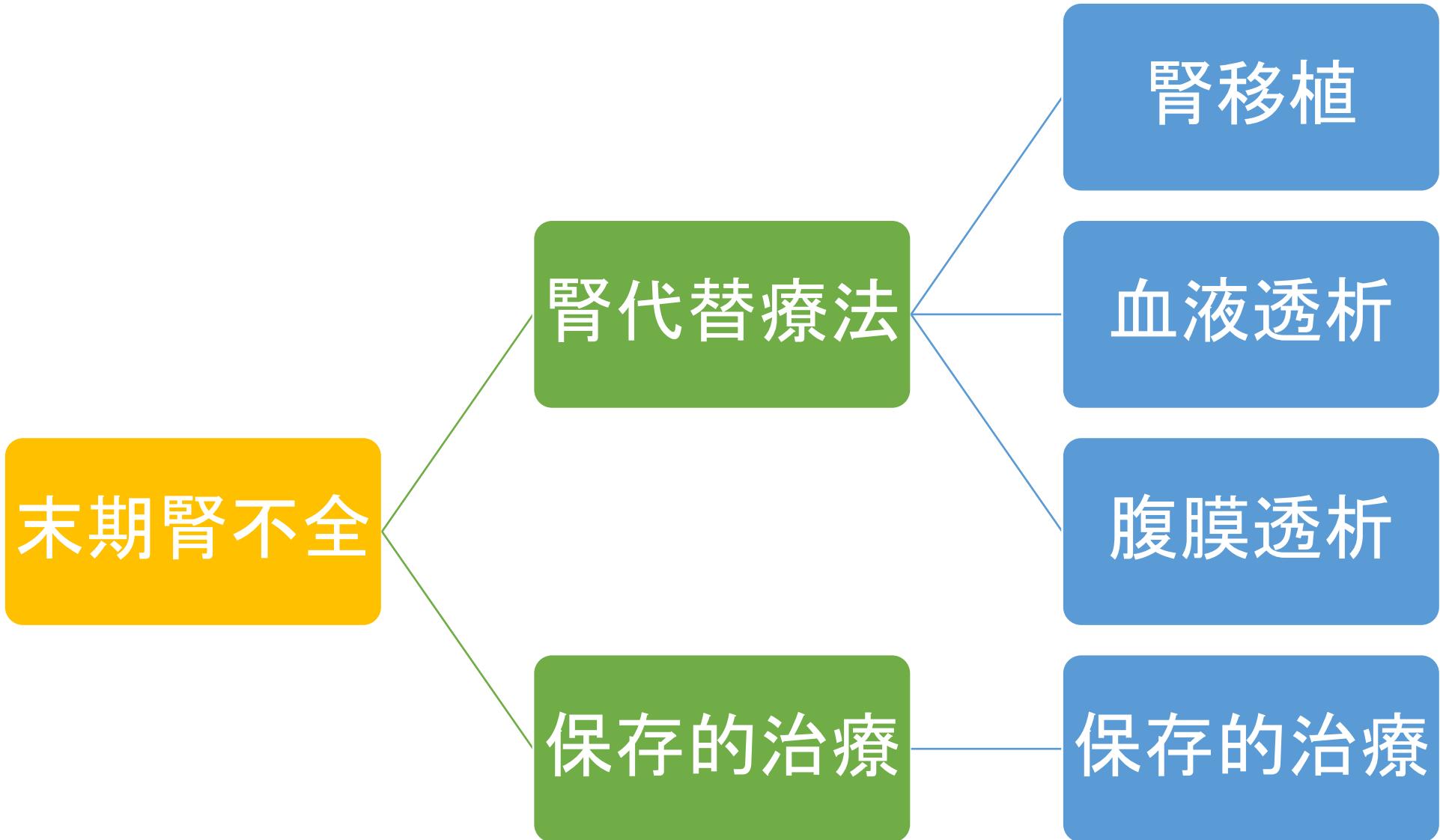
# 慢性腎臓病から末期腎不全に

## CKDの重症度分類

原疾患	蛋白尿区分		A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
			30未満	30~299	300以上
高血圧 腎炎 多発性囊胞腎 腎移植 不明 その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)		正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
			0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分 /1.73m <sup>2</sup> )	G1	正常または高値	≥90	■	■
	G2	正常または軽度低下	60~89	■	■
	G3a	軽度～中等度低下	45~59	■	■
	G3b	中等度～高度低下	30~44	■	■
	G4	高度低下	15~29	■	■
	G5	末期腎不全 (ESKD)	<15	■	■

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑■のステージを基準に、黄■、オレンジ■、赤■の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

# 腎代替療法



# 日本透析医学会 ガイドライン

- ・透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言

透析会誌 53(4) :173～217, 2020

## 【目的】

2021年から発足したアドバンス・ケア・プランニング（以下、ACP）チームの4年間の活動を振り返り、今後の課題を考える

## 【方法】

ACPチームの活動報告

# 2021年 院内ACPチーム立ち上げ



# 【これまでの活動】

2021年度	ACPに関する研修に参加 ACPについて話し合いをしていく患者の選定	対象: 急変の恐れのある患者へ対応
2022年度	患者へのACPに関する意識調査実施 人生会議ポスター配布 院内でのACPの流れの構築	
2023年度	人生会議ポスター配布 ACPが必要な患者への介入 日本透析医学会事例発表 「透析の見合わせ事例」	
2024年度	地域の介護職へのACP意識調査 患者へのACP個別相談会実施	

# 【ACPの流れ】

ACP

- ACPに関する言動の記録
- 患者カンファレンスでの情報共有
- 状況に応じて、訪問医や介護職への情報共有
- 状況に応じて、患者及び家族と医療者との面談及び記録

AD(DNAR)

- DNARに関する相談や言動があった場合、医師へ報告
- 患者及び家族と医療者と面談及び記録
- 状況に応じて、患者や介護職への情報共有
- DNAR指示書への記載(書式POLST:DNAR指示を含む)日本臨床倫理学会

# 【地域の介護事業所へのACP意識調査】

## 【対象】

当院に通院されている患者の担当をされている介護事業所20か所

## 【方法】

質問用紙への記入式

## 【倫理的配慮】

回答して頂いた事業所が、特定できないように配慮を行った  
集計結果を共有した

## 【回収率】

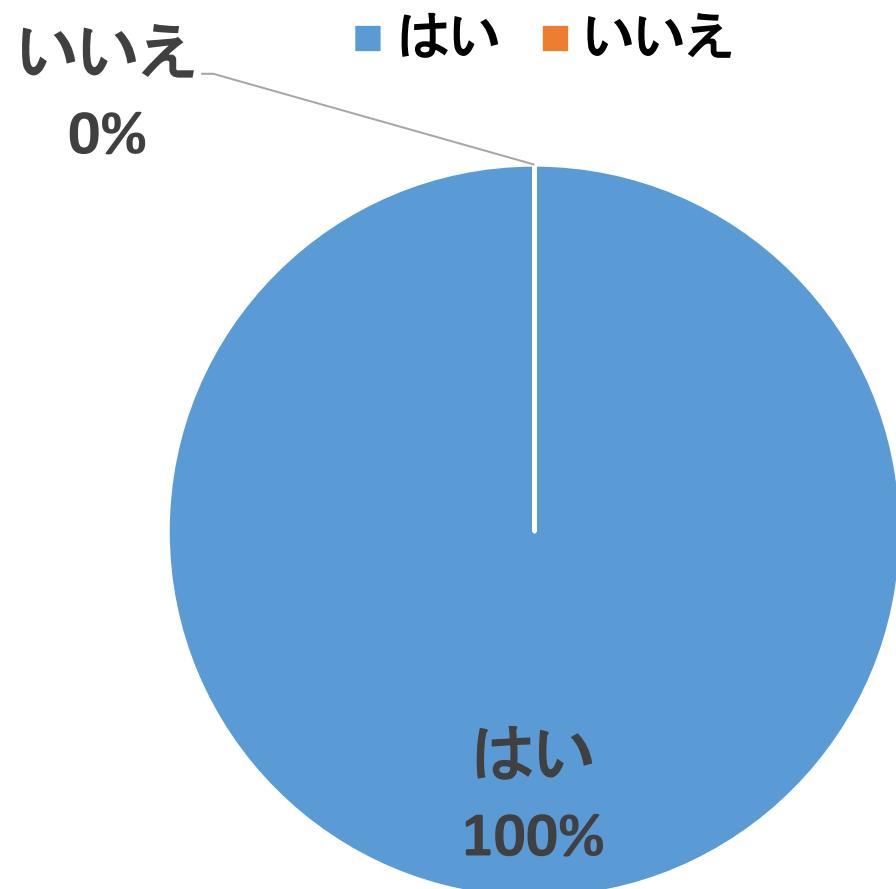
80% (16返信/20郵送)

# 【地域の介護事業所へのACP意識調査項目】

1. ACPを知っていますか。
2. ACPの情報を記録されていますか。
3. ACPの研修など参加されたことはありますか。  
はいとお答えの方で、差し支えなければ研修名をご記入ください。
4. ACPに関する情報共有は行っていますか。  
はいとお答えの方、どちらと情報共有されていますか。
5. 今後、当院の透析室とACPに関する情報共有をしていきたいですか。

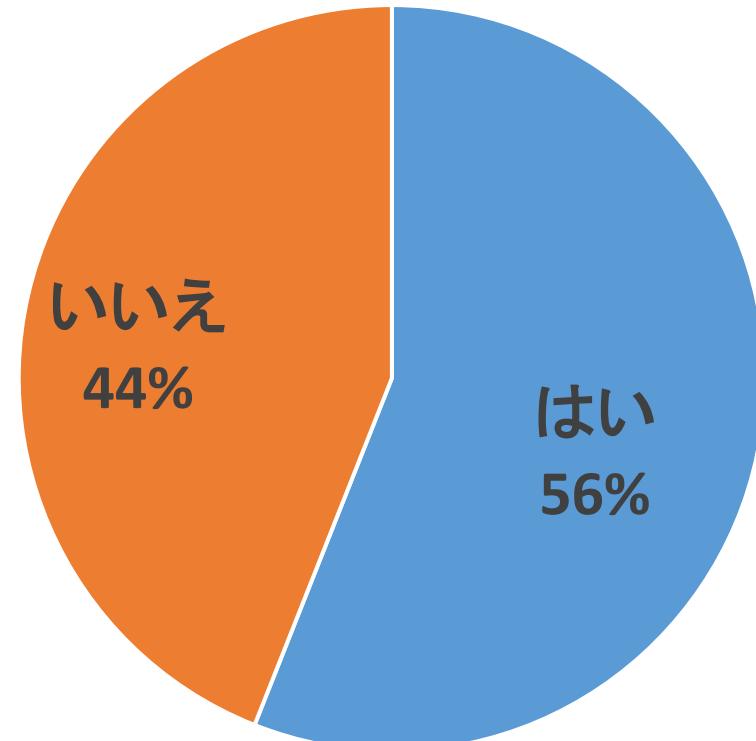
# 【地域介護支援所への意識調査の結果】

## 1. ACPを知っていますか

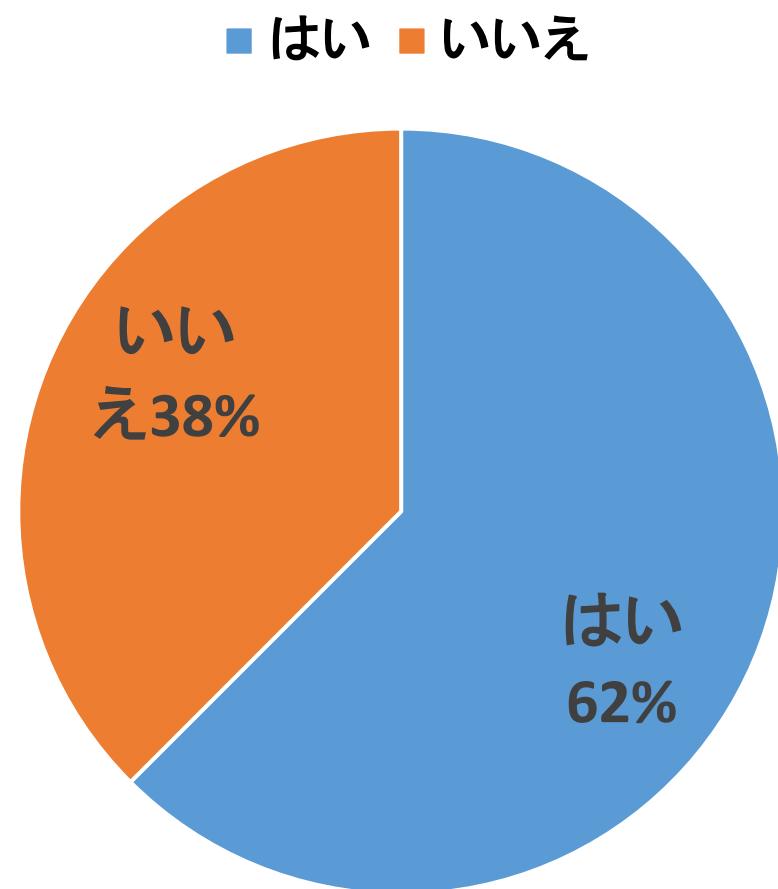


## 2.ACPの情報を記録されていますか

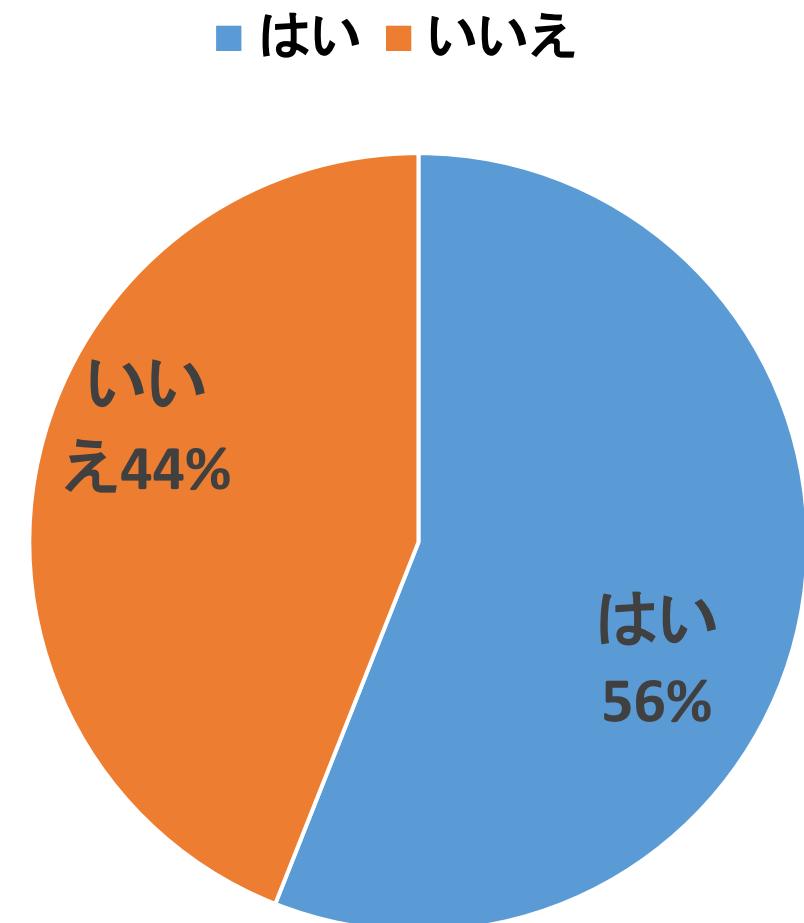
■ はい ■ いいえ



### 3.ACPの研修など参加されたことはありますか

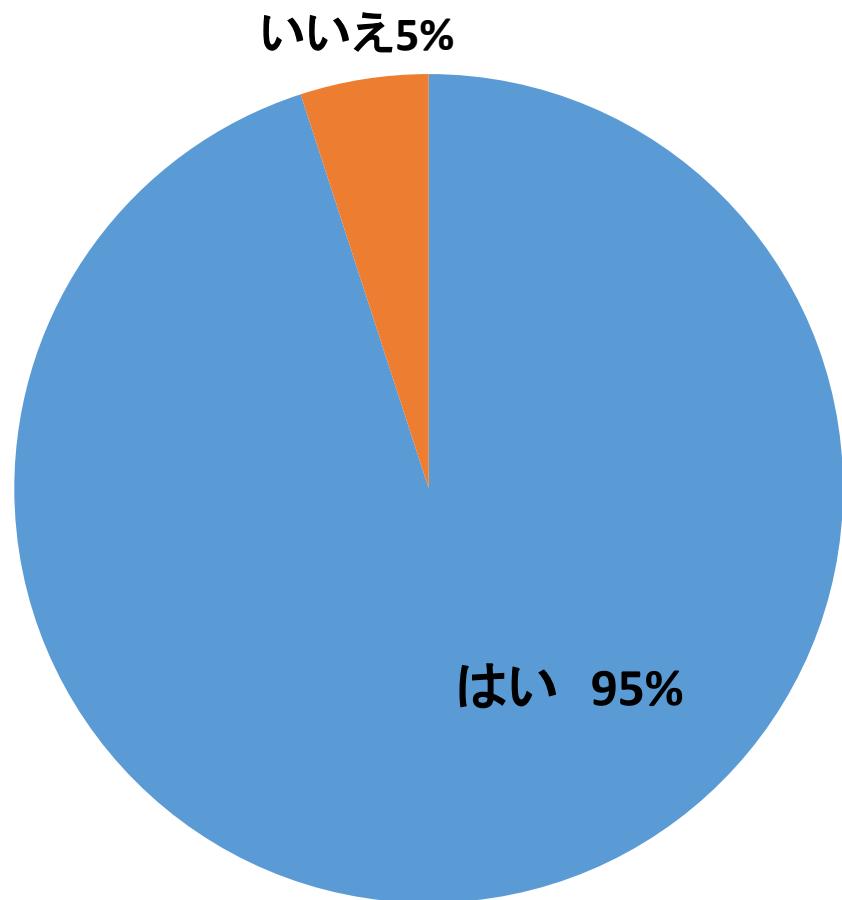


### 4.ACPに関する情報共有はおこなっていますか



## 5.今後、当院とACPに関する情報共有をしていきたいですか

■ はい ■ いいえ 今は考えていない



## 6.その他、ACPや協働意思決定などへの意見

- ・若い気持ちの方が多く、中々ACPについて話を振るのが難しい。
- ・元気な状態だと本人も具体的に考えられないことが多い。認知症で身寄りなし、自己判断意向の表現が難しい。
- ・元気なうちはACPについて何気なく聞くようになっている。終末期、認知症が進むと死に関して考え方方が変わってくる。冷静に話し合うのはケアマネジャー1人では難しい。他職種で確認する機会をもち共有していきたい。
- ・生活を共にしていない家族が持っている情報も引き出せたらと思っています。人生の最期まで揺れる心に寄り添うことで本人、家族が納得できる生活をサポートしたいと思う等

# 【個別ACP相談会の実施】

## 1. 目的

ACPに興味のある患者が、ACPについて理解することができる

## 2. 対象

2023年度以降、当院へ転入された患者 22名

## 3. 結果

3名の方が、個別面談を家族とともに実施(時間45分)

# 【ACP相談会の配布用紙】

## ACP 相談会

11月30日はACPの日です。

当院でACPの相談会を行います。



【期間】11月25（月）～11月30日（土）

【日時】月水金：14:10～14:40（30分間）

火木土：15:00～15:30（30分間）

【場所】西條クリニック鷹番3F エコー室

### 【内容】

ACPとは？何をどうすればいいのか？自分や家族にとってどんなメリットがあるのか？少しでも興味がある方、知ってはいるが、もっと知識を深めたい方。ACPについて、当院のスタッフと話してみませんか？ご家族や大切な方と一緒に是非ご参加ください。

10月5日（土）までに記入し、スタッフへお渡しください。

切り取り

希望日時： 月 日（ ） :

お名前 :

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

## 「もしものときに、どうしたいか」は、 変わっていくことがある。

どのような生き方を望むかは、一人ひとり異なるもの。  
また、ライフステージとともに変わっていくこともあります。

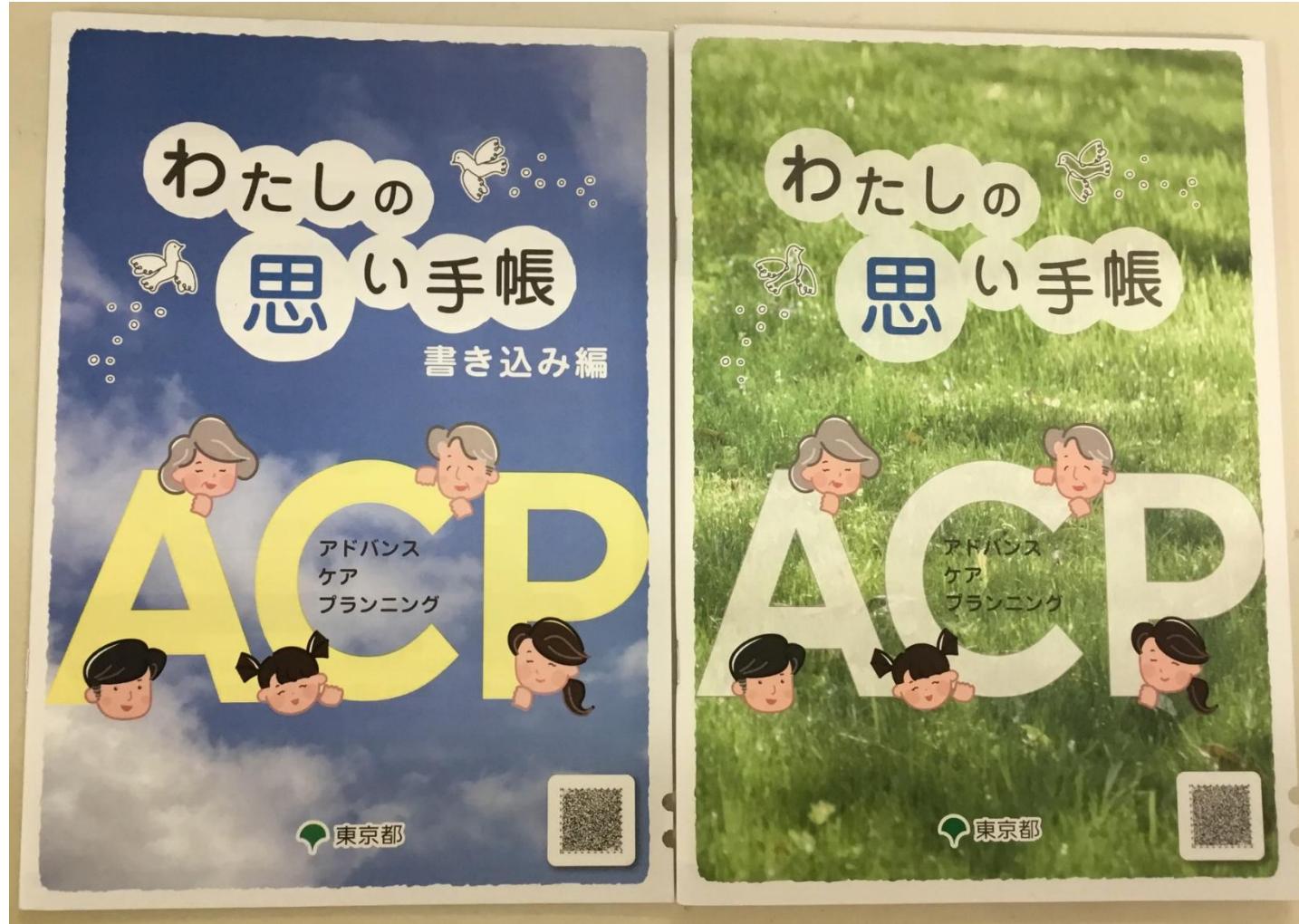
人生の最終段階において、あなたはどう過ごし、どのような医療やケアを受けたいと思いますか？  
あなたが大事にしたいこと、望む生き方にについて、考えたり、話してみたりすることは、  
もしものときに、あなたの望みをかなえる第一歩となるはずです。

あなたが望む生き方を、  
**人生会議 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)**

あなたが大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを、自分自身で前もって  
考え、周囲の信頼する人たちと共有しておくことを、アドバンス・ケア・プランニング(ACP、愛称：人生会議)といいます。

01 あなたが大切にしていることは何ですか？  
02 あなたが価値あることは何ですか？  
03 価値ある人生や医療・ケアームを語り合いましょう  
04 言いたかった内訳を伝えましょう  
何度でも繰り返し考え方を話し合いましょう

# 【個別相談会で使用した東京都のACP冊子】



# 【個別相談 Aさんの場合】

- ・妻と同席
- ・今までの生い立ちや、妻とのなれそめ、仕事について話をされた
- ・妻は、病気を患い車いす生活で、Aさんの話に傾き、聞いていた
- ・Aさん「妻に介護してもらおうと思っていたのに、逆になった」と笑いながら話をされた。

個別面談後

Aさん「いろいろ話をすることができて良かった。また、お願ひします」

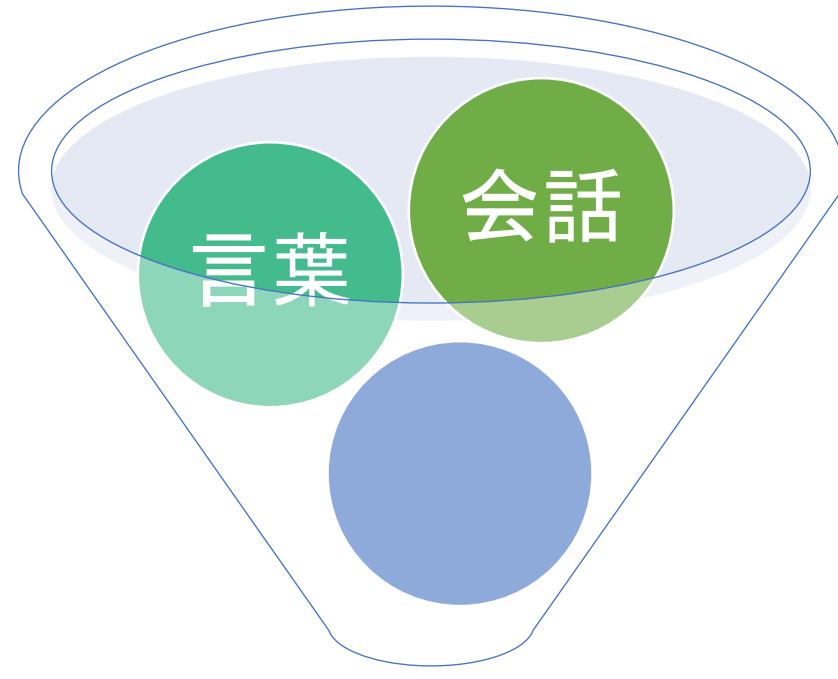
## 【ACPチーム活動5年目・・・】

- ・担当看護師が、患者に変化があった時にACPの介入を行う
- ・ACPチーム活動5年目で、他の看護師からもACPについて患者と話をしたいと声が上がって いる
- ・25年9月6日現在 ACPに関する支援 10名

## 【考察】

- ・チーム発足時は、ACPの話をどうのようになればよいのか迷いがあった。
- ・地域の介護事業所への意識調査は、同じ悩みを抱える一方、患者へのACPに关心を持つことが多く、今後も連携していきたい。
- ・2024年度のACP個別面談では、個室で家族とともに、生きがいや生活の話など話を、聞く時間は有意義であった。ACPに興味ある患者から、アプローチしていくことが継続の鍵になると考える。
- ・今後も、日々の会話を通じて、ACPに関する言葉や物語をキャッチできるようにコミュニケーション能力を向上していく。

日々の会話から、かけら(Piece)を集め



ACPにつなげていく

# 【結語】

ACPチームとして、患者のpieceをつなぎながら  
今後も活動を継続していく。

患者さんの為に、  
今日の研究会で多くのことを  
学び実践に繋げていきたい



ご清聴ありがとうございました

# 【参考文献】

- ・角田 ますみ. ここからスタート アドバンス・ケア・プランニング.  
へるす出版. 2022
- ・平原 左斗司・荻野美穂子.  
エンドオブライフケア すべての人の命とくらしのために. 南山堂. 2022
- ・中川 俊一. あなたのACPはなぜうまくいかないのか?  
.MEDICAL VIEW. 2024
- ・西 智弘. 私たちの暮らしにある人生会議. 金芳堂. 2021
- ・東京都在宅療養推進会議. わたしの思い手帳.  
東京都福祉保健局医療政策部医療政策課. 2021
- ・腎臓病SDM推進協会.  
慢性腎臓病患者とともにすすめるSDM実践テキスト. 医学書院. 2020